

# 令和4年度公益財団法人やまなし文化学習協会 事業計画

## I 基本方針

県、市町村、関係機関等と連携して、県民の自発的な芸術文化、生涯学習活動を支援するとともに、男女共同参画社会の形成を促進し、地域文化の振興と地域社会の活性化を担う人材の育成に寄与していく。

この目的を達成するため、甲斐市双葉ふれあい文化館、山梨県立男女共同参画推進センター（ぴゅあ総合・ぴゅあ峡南・ぴゅあ富士）、山梨県生涯学習推進センター、山梨ことぶき勸学院、森の教室及び山梨近代人物館の施設運営を受託して、これまで蓄積してきたノウハウや専門的知識を生かして、時代の変化や県民のニーズに応じた事業やサービスを提供し、県民生活の向上に貢献していく。

また、中期経営計画に基づき、協会の経営基盤を強固で盤石なものとしていくため、協会本部機能の強化を図るなど、協会のガバナンス強化への積極的な取組を進めるとともに、職員のコンプライアンスや専門性の向上を図る人材育成の強化のほか、徹底したコスト削減に努めていく。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大や自然災害等に備えて、安全・安心対策を徹底するとともに、経済や行政のデジタル化の進展に伴い講座のオンライン配信や事務手続きのオンライン化の検討など業務の効率化にも努めていく。

## II 事業実施計画

### 1 法人会計

理事会、評議員会等の諸会議を開催し、協会の運営や組織の活性化、事業推進を図っていく。

### 2 芸術文化の推進及び振興事業（公益目的事業 1）

#### ○ 甲斐市双葉ふれあい文化館（指定管理）

甲斐市民の広範な教育、文化教養の向上及び人づくりに資する施設として設置された甲斐市双葉ふれあい文化館の管理運営を行う。

この事業は、双葉ふれあい文化館の第4期（R3年度～R7年度）指定管理者として、基本協定書に基づき施設の管理運営や芸術文化振興事業などを行う。

#### (1) 施設の運営管理

- ① 利用の承認に関する業務
- ② 利用料金の収受に関する業務
- ③ 平等な利用の確保に関する業務
- ④ 利用者の増加を図るための業務
- ⑤ サービスの向上を図るための業務
- ⑥ 施設及び設備器具の維持保全並びに安全管理に関する業務
- ⑦ 事業計画、事業報告に関する業務、利用者アンケート等に関する業務

## (2) 芸術文化振興事業

### ① 鑑賞型事業

住民に良質な公演を鑑賞する機会を提供することを目的とした事業

- ア 「自衛隊音楽隊演奏会」の開催
- イ 宝くじ文化公演「上妻宏光 Standard Songs 2022 feat.佐藤竹善」の開催
- ウ ミュージカル「クリスマス・キャロル」の開催
- エ 「東京大衆歌謡楽団コンサート」の開催
- オ NHK 公開番組「ニャンちゅうの宇宙に夢チュー！」の開催
- カ 公共ホール音楽活性化事業「おんかつコンサート」の開催
- キ 「0歳からのクラシックコンサート」の開催
- ク 「甲斐ふれあい寄席」の開催
- ケ 地元アーティストによるロビーコンサートの開催

### ② 市民参加・地域貢献型事業

舞台芸術を普及するため住民に芸術活動に親しんでもらうとともに、公演に参加する事業

- ア 市民同士の交流を図るカラオケ大会「甲斐市ふれあい新春カラオケ大会」の開催
- イ 市内在住のアーティストに発表の場を提供する「KAI ふれあいステージ」の開催
- ウ 市内小中学生の吹奏楽部や合唱部が一堂に集まり、日ごろの練習の成果を発表する「甲斐市小中学校音楽祭」の開催
- エ 地元NPO 法人と連携し、ふれあい文化館前の広場で幅広い世代の方々に向けたマルシェの開催
- オ マルシェ開催時に地元アーティストによる「マルシェコンサート」の開催
- カ 市内事業所等の要望に応じたアウトリーチ型事業「お出かけコンサート」の開催
- キ 身体運動を取り入れながら、運動作用をトータルに学ぶ「学習型ワークショップ」の開催
- ク ゴスペルソングを学びステージ発表を行う「体験型ワークショップ」の開催
- ケ 山梨県生涯学習推進センターや山梨県立男女共同参画推進センター等と連携し、地域人材育成の形成に繋がる生涯学習講座の開催
- コ バーゼンドルファー製のピアノを、舞台上で1時間弾くことができる「ピアノオンステージ」の開催
- サ 市内小学校の児童を対象としたホールの舞台・照明・音響を体験する「ホール探検ツアー」の開催
- シ 公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)のアウトリーチ事業の開催
- ス 市内在住アーティストや市民活動団体等からの相談・要望に応じた「市民企画事業」の開催

### ③ その他

- ア ホールボランティアを募集して事業の運営の補助などに参加し芸術活動に触れる機会を作る。
- イ より多くの市民に事業の様子をお届けできるよう、動画配信サイトなどを通じて事業映像を配信する。

## 3 生涯学習の推進及び振興事業 (公益目的事業 2)

### ○ 山梨県生涯学習推進センター (委託事業)

県民の生涯学習を総合的に支援するため設置された山梨県生涯学習推進センターの運営管理を行う。この事業は、県との委託契約に基づき、施設の管理や生涯学習支援事業などを行う。特に、令和4年度は、年間を通じてSDGsについてより深く理解し、県民一人ひとりが自分でできることを考えるきっかけとなる講座を開催する。

## (1) 情報の提供・相談事業

### ① 情報の収集・提供

年間を通じて学習機会や指導者、サークル等、生涯学習に関する様々な情報を収集提供するとともに、様々な媒体を活用して情報を発信する。

### ② 情報誌「生涯学習やまなし」の発行

県民の生涯学習を支援するため、キャンパスネットやまなしの連携講座情報等を情報誌として提供する。

### ③ ビデオライブラリーの運営・ビデオセミナーの開催

センターの講座等を収録した視聴覚教材(著作権法上問題のないDVD)を貸し出すとともに、センターにおいても放映する。

### ④ 市町村・高等教育機関・民間カルチャーとの連携

センター主催事業及び市町村等が実施する事業において、連携・協力する。

### ⑤ 学習団体支援

生涯学習を目的とした団体、個人への交流室の貸出及び支援を行う。

### ⑥ 生涯学習相談・人材の育成

来所者や電話等による生涯学習に関する各種相談にきめ細かくに対応する。

## (2) 調査・研究事業

### ① 調査研究事業

生涯学習に関するさまざまなテーマについて調査研究を行い、今後の生涯学習事業に反映する。

### ② サポーター制度

センター事業の充実を図ることを目的に、広報、運営、企画をサポートいただくサポーター制度を設置する。

## (3) やまなしまなびネット・キャンパスネットやまなし事業

センターホームページと連携して、システムの運営と活用を促進する。

## (4) 賑わい・交流促進事業

### ① まなびい交流倶楽部

勤め帰りの社会人及び子育て層や親子も参加可能な時間帯において、多様なテーマの学習機会や交流の場を提供する。「障がい者のためのわくわくタイム2022」など全7講座・26回

### ② 生涯楽習講座

夜間や土日・祝日を中心に楽しく学べる講座をオープンスクエアや県民ひろば等で開催し、やまなしプラザの賑わい創りに貢献する。「おいしい実験！おやつマジック」など全8講座・13回

## (5) やまなしの愛デンティティ形成事業

### ① 山梨学講座

山梨の文化・歴史・自然等の講座をとおして、山梨の素晴らしさを再発見し、郷土愛を育む講座を開催する。「武田家最後の忠臣ー土屋昌恒と金丸氏ー」など全9講座・21回

## (6) 生涯学習支援事業

### ① 現代的課題講座

生活をする上で必要な新しい技術、法律、自然現象などの知識を得るための講座を開催する。  
「SOGIEをめぐる『ふつう』と『ふつうじゃない』のあいだ」など全8講座・15回

### ② 市民自主企画講座

学校や家庭、地域等で培われた様々な学習成果を活かすため、県民自らが講座を企画・開催する。  
年100講座・400回実施予定

### ③ 職業体験講座

小中高生を対象に職業観の育成や将来の職業を展望するきっかけづくりを狙いとして、それぞれの職業を体験しながら学習する講座を開催する。「ファッションデザイナーのしごと」など全5講座・6回

### ④ U-21チャレンジ講座

青少年が体験してきた学習活動、ボランティア活動等の成果を活かし、成果発表する講座を開催する。

### ⑤ まなびウィーク

センター交流室を拠点に学習活動を行うサークル・団体が活動成果を展示・発表する機会を提供する。

## (7) 普及啓発事業

### ① 地域生涯学習啓発活動

大型商業施設及び県民の日イベント会場において、生涯学習の普及啓発を図る活動を行う。

### ② 生涯学習出張講座

県老人クラブ連合会、障がい者施設または障がい者イベント、その他要望のある団体に対して、いつでもいくつになっても学び直しができる機会を提供する。

## (8) 生涯学習活躍促進事業

### ① 生涯学習セミナー

生涯学習の指導者や指導者を目指す学習者を対象に、地域の生涯学習における中心的指導者として活動できるよう、必要な知識や企画・運営方法等について学習する。「ゼロから学ぶSDGs」など全2講座・3回

### ② 生涯学習成果活用講座

生涯現役で活躍できる社会を創出するため、学習の成果を活用するための講座を開催し、活躍の場を提供する。「耳を傾け、心に寄り添う～傾聴ボランティアのすすめ～」など全3講座・8回

## (9) サテライトスクール事業

身近な場所での学習機会の提供と充実を更に図るため、センターで開催する講座を Web 会議システムを活用して、県合同庁舎等のサテライト会場に配信するほか、引き続き各市町村の公民館等を対象としてオンライン配信講座視聴拠点団体を募集し、より多くの拠点に同時配信する。オンライン講座を含め42回予定

#### 4 男女共同参画の推進及び振興事業（公益目的事業 3）

##### ○ 山梨県立男女共同参画推進センター（指定管理）

県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供し、もって男女共同参画の推進に資するために設置された男女共同参画センター（びゅあ総合・びゅあ峡南・びゅあ富士）の施設の運営管理を行う。

この事業は、男女共同参画推進センターの第3期（R元年度～R4年度）指定管理者として、基本協定書に基づき施設管理や男女共同参画推進事業などを行う。また、県の第5次山梨県男女共同参画計画が令和4年4月から施行されることから、基本協定書の規定に基づき、男女共同参画推進事業については、新計画に沿った内容のものとなるよう県と協議を行う。

なお、びゅあ総合については、大規模改修工事のため、令和4年6月1日から令和5年3月31日まで休館し、その期間中の事業及びDV相談・女性一般相談については場所を移転して行う（福祉プラザ等）。また、びゅあ峡南については、新たな男女共同参画活動拠点の整備に伴い、令和4年6月以降に新拠点に移転する。（南部町旧富河中学校）

##### (1) 施設の運営管理

- ① 利用の承認に関する業務
- ② 利用料金の収受に関する業務
- ③ 平等な利用の確保に関する業務
- ④ 利用者の増加を図るための業務
- ⑤ サービスの向上を図るための業務
- ⑥ 施設及び設備器具の維持保全並びに安全管理に関する業務
- ⑦ 事業計画、事業報告に関する業務、利用者アンケート等に関する業務

##### (2) 男女共同参画推進事業

###### ① 調査・研究事業

男女共同参画を推進するための調査研究を行う。

###### ② 情報収集・提供事業

男女共同参画社会の理念や男女共同参画推進に関する施策の実施状況など、男女共同参画に関する資料や情報を収集し、ロビーや情報資料室、ホームページやFacebook・Twitter等のSNSを通じたインターネット発信、そして従来の情報誌等、様々な機会や媒体を活用して情報の提供を行う。

###### ③ 普及・啓発事業

男女共同参画推進の必要性と重要性を広く県民に啓発することを目的として、社会状況の変化を捉えながら、様々な課題・テーマについて、講演、ワークショップ、シンポジウムなど効果的な学習形式により事業を実施する。特に、台風など頻発する大規模災害に鑑み男女共同参画の視点による防災対策や、コロナ禍でのDVの深刻化に鑑みDV対策に重点的に取り組んでいく。

主な事業として、

- ・女性の活躍
- ・家庭における男女共同参画
- ・地域における男女共同参画

- ・DV・性暴力被害防止の推進
- ・性の多様性に対する理解促進
- ・地域や学校、職場などに出向いて行う「出前講座」など

男女共同参画に関するさまざまなテーマについての学習機会を引き続き提供する。

④ 交流促進事業

県内各地域において、男女共同参画の視点から様々な活動を行っている市町村、関係機関、団体、家庭間における交流促進とネットワークづくりを支援するための事業を実施する。

主な事業として、各自治体の男女共同参画推進委員、活動団体等の交流を図る「ぴゅあフェスティバル」「市民企画講座」などを行う。

⑤ 人材の発掘・育成事業

女性の能力を高め、政策・方針決定過程への女性の参画を拡大するため、地域や企業等において活躍している女性を発掘・育成し、県や県民に情報提供を行う。また、こうした人材をロールモデルに起用し、事業を通じて女性の社会参画を推進する。

⑥ 地域における実践活動支援事業

地域における課題解決に向けた男女共同参画についての取組を出前講座などにより支援する。

また、鳥取県倉吉市で開催される日本女性会議への参加を通して地域での活動を支援していく。

⑦ 運営協議会の開催

センターの運営について、男女共同参画を推進するための活動を行っている女性団体等、大学、報道機関など、外部の様々な分野の方々から意見を求めるために、「山梨県立男女共同参画推進センター運営協議会」を設置・開催する。

(3) 相談業務

① 地域活動相談事業(ぴゅあ3館)

男女共同参画に関する活動や学習会について、活動団体からの相談を受け、活動を支援する。

② 女性総合相談(ぴゅあ総合)

日常生活から生じる一般的な問題・悩みに対して、女性相談員が電話及び面接により相談に応じる。また、必要に応じて、自立支援制度についての情報提供及び支援を行う。

③ 配偶者からの暴力に関する相談(ぴゅあ総合)

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のため「配偶者暴力相談支援センター」として、相談業務を行う。また、必要に応じて、保護命令制度や自立支援制度についての情報提供及び支援を行う。

④ 弁護士による法律相談(ぴゅあ総合)

上記(3)の相談を受けた被害者のうち法律相談が必要と思われる者を対象として、毎月1回、弁護士による無料法律相談を行う。

⑤ 男性の総合相談

男性の一般的な問題・悩みに対して、毎月1回、男性相談員が電話により相談に応じる。

(4) 自主事業

地域の男女共同参画推進の拠点施設として、多くの利用者が気軽に足を運び、親しんでもらうことを目的として、男女共同参画の理解を深める事業を行う。主な事業は次のとおり。

① びゅあ峡南感謝のつどい（仮称）の開催

びゅあ峡南の移転に伴い、これまで施設の利用をとおしてびゅあ峡南を支えていただいた地域の皆さまに感謝の気持ちを伝えるため、「感謝のつどい」を開催する。

② 人が集まるちらしの作り方講座（仮称）の開催

男女共同参画推進委員や市町村担当職員、活動団体スタッフなどを対象として、講座開催等のちらしの作り方講座を開催する。

## 5 受託事業（収益事業等 2）

### ○ 山梨ことぶき勸学院（委託事業）

今後求められる新たなシニアのライフスタイルを創造するため、「生きがいの創出」「新たな縁・絆の構築」「地域貢献できる人材の育成」「健康増進」の実現を目指して、学校方式による講座の受講や自主的な学習の場の提供など様々な事業を行う。

この事業は、県教育委員会との委託契約に基づき、山梨ことぶき勸学院本校（東光寺）の施設管理や山梨ことぶき勸学院事業などを行う。

#### (1) 山梨ことぶき勸学院本校（東光寺）の管理運営

勸学院本校の利用に係る基本的な条件及び管理運営の基本条項・仕様書に沿って、適正に管理運営する。

#### (2) 山梨ことぶき勸学院事業

甲府教室、中北教室、峡南教室、北都留教室、南都留教室の県下5教室体制で運営していく。

##### ① 必修講座（25講座 75単位）

###### ア 地域を創る

地域をテーマに学習し、地域の施設を訪問し、交流や地域貢献活動などを実践する。

1学年 ・仲間づくり ・地域での交流 ・地域を知る ・地域の介護、福祉  
・地域貢献 ・地域研究 ・地域学習、意見交換 ・活動実践全体発表

2学年 ・地域での交流 ・地域を知る ・地域の防災  
・地域学習 ・活動実践全体発表

###### イ 知識を深める

日本や山梨の文化・歴史・経済・芸術・科学、高齢者を取り巻く様々な社会問題に関する講座を開催する。

1学年 ・高齢者の食生活と運動 ・山梨の歴史 ・日本の文学古典  
・暮らしの経済 ・消費生活の基礎知識

2学年 ・山梨の自然 ・環境問題 ・心身の健康管理 ・世界の歴史 ・山梨の文学

###### ウ 感性を高める

大学教授等による音楽や星を楽しむ等の講座や美術館の学芸員によるアート作品の解説と鑑賞など、芸術文化などについて学ぶ。

エ 時代をとらえる

人生100年時代を生きる心構えや先端技術、時事問題等をテーマに講座を開催する。入学式と卒業式において、有識者による記念講演会を開催する。

オ ふれあい行事

全ての勸学院生が一堂に会し実施する全体行事として、入学式・勸学院祭・卒業式などを実施する。

- ・入学式 入学式、始業式
- ・勸学院祭 歌、踊りなど教室単位で日頃の練習成果を発表するため、学園祭を開催する。
- ・卒業式 卒業式、修了式

② 選択講座（20単位以上）

勸学院生がそれぞれの興味・関心を一層高め、ことぶき勸学院での学びや活動を実践につなげるために、学生自らが、県及び市町村、生涯学習推進センター、大学、県立文化施設、民間団体などが提供する講座などを選択・受講する。

③ 学級活動・クラブ活動

ア 教室ごとに「帰りの会」の開催や、学級役員や班編制の決定等、学生自らの運営により学園生活や諸行事を実施する。

イ それぞれの教室において、自主的にクラブを組織し活動する。

○ 「森の教室」等普及啓発ゾーン（プロポーザル事業）

広く県民に自然のしくみや森林、林業に対する理解を深めていただくことを目的として、年間を通じて、自然観察会や木工教室など各種イベントを開催するとともに、山梨県森林総合研究所の研究成果をわかりやすく紹介する施設の運営管理を行う。

この事業は、県の企画提案募集事業（プロポーザル事業）に応募し、これに基づく委託契約に沿って森の教室の施設管理や普及啓発事業などを行う。

(1) 施設運営に関する業務

- ① 日常的な個人利用者への対応、団体利用者への対応などを行う。
- ② 工作室での工作体験への対応、展示室での説明と案内、木のおもちゃ室を良好な状態に保ち紹介と案内などを行う。
- ③ 芝生広場の見回り、ちびっ子の森コースのコース紹介を行う。

(2) 普及啓発事業に関する業務

- ① 写真展などの特別展示や「野山を歩いて春を描こう～植物観察と絵手紙体験～」などの自然体験講座、「ヒラタケ・シイタケの植菌体験」などの科学講座、「森は大事なエネルギー」などの森林環境教育講座、県産材のヒノキを使った木工教室、「小枝の壁掛け」などのクラフト教室、さらに出前講座を開催する。
- ② 森の教室をより多くの県民に知っていただくため、施設内において「プラネタリウムの体験教室」を開催する。
- ③ 関係団体との連携事業として、「ちびっ子の森」を利用して、野外コンサートを実施する。

④ 当協会が管理運営をしている各施設での移動巡回展示を開催する。

**(3) 利用者サービスの向上を図る業務**

年間行事予定表及び情報誌「森の教室だより」の作成と配布、インターネットを活用した広報活動を行う。

**(4) 施設・設備の維持管理業務**

施設、設備の点検と巡視、緑地管理、日常清掃業務等を行う。

**(5) 防災対策に関する業務**

- ① 災害・事故等の緊急事態への迅速かつ適切な措置を行う。
- ② 火災、盗難及び不良行為等を防止するため警備、賠償責任保険への加入
- ③ 主催事業におけるボランティア保険への加入

**○ 山梨近代人物館（プロポーザル事業）**

県指定有形文化財である県庁別館内に、県政の歴史や本県発展の礎を築いた先人達の功績を展示する施設として整備された山梨近代人物館の管理運営や普及啓発事業を行う。

この事業は、県の企画提案募集事業(プロポーザル事業)に応募し、これに基づく委託契約に沿って、人物館の施設管理や、教育普及事業などを行う。

**(1) 山梨近代人物館の管理運営**

- ① 利用者対応
  - ア 入館者の受付・案内・解説
  - イ 入館者数等の把握
  - ウ レファレンス内容等の記録
  - エ 展示物等の監視
  - オ 各種配布物(人物館のリーフレット等)の配布
  - カ アンケートの作成・印刷・配付、また、その回収と集計
  - キ 県内文化施設等の情報提供
  - ク 苦情等への対応

**② 展示物の管理**

ア 上期第15回展示

「山梨を舞台に活躍したひとびと」をテーマに、藤村紫朗(熊本県)、野口英夫(徳島県)、ポール・ラッシュ(アメリカ合衆国)など、近代山梨を舞台に活躍し、多大なる功績を残した山梨ゆかりの人物9名を紹介する。

イ 下期第16回展示

「わたしたちのまちの先駆者たち—峡東地域—」をテーマに雨宮敬次郎(甲州市)、根津嘉一郎(山梨市)、飯田蛇笏(笛吹市)など、峡東地域ゆかりの先人の活動にスポットを当て、日本の政治・経済や教育・文化の向上に尽力した人物9名を紹介する。

ウ 日常的な展示物の管理

エ 展示の入れ替え作業

## (2) 教育普及事業

教育普及事業として、月1回程度、人物館において紹介する人物や県内文化財、その他歴史文化等を題材としたイベント等の企画運営を行う。また、PR事業として、青少年育成甲府市民会議との共催事業や県立博物館や地域の文化施設との連携講座を開催する。

## (3) 広報事業

県民や県を訪れる観光客等が、山梨ゆかりの近代人物等に興味関心を持ち、人物館の利用促進が図られるよう、人物館にかかる情報を各種広報媒体や学校等に提供する。また、県庁噴水広場や近隣で開催されるイベントへの参加や、リーフレットの配布などの広報活動を行う。

## (4) 施設・設備の維持管理業務

県観光文化部が供与する施設・設備等について、館内清掃、施設や設備・器具の安全管理、専門業者への委託などにより良好な維持管理を行う。

## (5) 安全対策に関する業務

- ① 災害や事故等の緊急事態が発生した場合は、避難誘導や消火、救護等の初期対応を行うとともに、関係機関への連絡など迅速・適切な措置を講ずる。
- ② 火災盗難及び不良行為等を防止するため、定期的に巡視を行う。
- ③ 安全体制を整備し救急用品等を備えて日常的な管理を行う。県が実施する避難訓練等に参加する。
- ④ ミュージアム甲斐ネットワーク事務局と連携し、災害時連絡マニュアルに沿って対応する。

## 6 施設貸与事業 (収益事業等 1)

### ○ 施設の有効利用及び利用者サービスに係る事業

甲斐市双葉ふれあい文化館、山梨県立男女共同参画推進センターの公益目的以外の各施設の利用とチケット販売・自動販売機の設置・看板印刷等、利用者サービスにかかる事業を実施し、広く県民の利便に役立ていく。